



古代のカマド。古墳時代1400年前。御代田町前田遺跡。
カマド(左上)とその脇にたくさんの土器がある。

発掘された

古代のカマド

現在、火を使わずとも調理ができる電磁式調理具という安全なものが出たが、まだまだガスレンジ主流、それ以前はカマドが炊事の主役だった。いまでは、電気カマのスイッチひとつでご飯が炊け、寒い朝もだいぶ楽になったが、かつては早起きして、カマドに火を入れることから始めなければならなかった。

カマドの起源を追ってみると、5世紀頃までさかのぼり、朝鮮半島から伝わってきたという説が主流だ。御代田でも、その頃の古いカマドが前田遺跡から発掘されている。それ以前に使われていたイロリに比べるとカマドは格段に熱効率がよく、当時としては画期的な調理施設であった。御代田の古人たちは、浅間の軽石と粘土を使い、カマドを築いていた。

古代の人々は、私たちが最初に電子炊飯ジャーを手にしたような驚きをもって、カマドという炊事施設を見つめたにちがいない。

古来、カマドにはカマド神が宿っていると考えられていた。カマドが古くなって使用しなくなるときには、そのカマド神をお祭りして送り出したようだ。



カマドの発掘風景 前田遺跡

企画展 **Stone & Tone** (ストーン&トーン)

■2月11日(日)~2月24日(土) ■浅間縄文ミュージアム 企画展示室 入場無料

御代田町の人口(1月1日現在)

●人口 14,224人(先月比+14) 男 7,134人女 7,090人
●世帯数 5,473世帯(先月比+19) ●外国人登録者数 764人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 2464-2 ☎0267-32-3111